

## 学校関係者評価報告書

学校等名称	北海道二セコ高等学校
-------	------------

項目	No.	重点目標	指標	取組状況・成果・課題	評価	改善策	学校関係者評価	
							評価	学校関係者評価でいただいた意見・要望等
分かる授業、楽しい学校・幼児センター	1	「分かる授業」を目指した授業改善の推進	生徒による授業評価を2回実施し、授業改善を図る。	・生徒による授業評価を実施し、学力向上に向け授業改善を図っている。 ・授業改善では保護者アンケートの結果からも好意的に評価されている。 ・公開授業を2回実施したが来校者が少なく、広く保護者・町民に公開するという面で課題が残った。	B	・教科指導力向上にむけた校内研修を実施するなど、「分かる授業」により学力向上を図る。 ・公開授業の時期や回数、形態などを工夫し、いつでも授業を見ていただけるよう改善する。	B	・授業は、高校の根幹であることから生徒の実態に合った授業をお願いしたい。
	2	特別支援教育の充実	組織的、系統的な特別支援教育を進めるにあたり、該当生徒がいた際は外部と適切な連携を図る。	・スクールカウンセラーを定期的に依頼生徒のケアについて実施した。 ・特別支援委員会を必要に実施した。	B	・継続したスクールカウンセラーの活用が必要である。	B	・カウンセリングにより生徒が登校していることは成果が出ている。継続してほしい。 ・生徒も多様化することから先生方の継続した研修もお願いしたい。
	3	読書活動の推進	図書だよりの発行と図書委員会の活性化させることで、図書室の活性化を図り、「あそぶつく」と連携し、読書活動の推進を図る。	・図書室の利用は多くなかった。 ・あそぶつくと連携し「立ち読み図書館」を実施した結果、利用者が多く、次年度以降も連家し実施していきたい。 ・定期的な読書週間の確立が必要と考える。	C	・次年度もあそぶつくとの連携により図書週間の確立を目指す。 ・図書室の利用方法の検討が必要である。	C	・読書習慣の確立をしてほしい。
	4	防災教育・安全教育の推進、安全管理の徹底	保護者・生徒への連絡体制の構築を目指す。	・非常時のマニュアルは整備された。	B	・特になし	B	・特になし
	5	いじめ・不登校児童生徒への対応と強化	本校いじめ防止基本方針を生徒に周知し、未然防止と発生時の適切かつ速やかな解決を目指す。	・年2回のいじめアンケートの実施した。いじめの実態はない。 ・教育相談週間を設置し、早めの対応を心掛けている。	A	・教職員が情報共有を行い、組織的取り組み今後も未然防止に取り組んでいく。	A	・継続した調査や指導をお願いしたい。
タ校家  ・庭 の幼、 連児地 携セ ン、学	6	外部人材の積極的活用	外部人材による講演・講座を10回以上開催し、生徒の学習意欲と学力の向上を図る。	・教科や連携学習による効果的な外部講師の活用を行い、学習効果は高まっている。 ・生徒の取組状況や意欲も高く良好である。	A	・特になし	A	・町民や関係団体との連携を図り、生徒の学習効果をあげるために今後も実施して欲しい。
ン学情 タ校報  ・発 幼信 児す せる	7	学校情報の積極的な発信の充実	学校行事毎に生徒の様子をHPや学校だよりに通じて情報発信する。	・HPによる行事ごとの掲載や学校だよりに、町広報誌への定期的な情報発信を行った。 ・報道(テレビ・新聞)を通して生徒の活動を積極的な情報発信に務めた。	A	・保護者への通信が渡らず検討が必要である。	A	・新聞記事でよく学校の情報を目にすることはできた。 ・保護者に対する情報発信の仕方に工夫が必要である。
ン学 タ校  ・運 幼 営 児 セ	8	服務管理の徹底	厳正な服務規律保持により教職員事故〇“ゼロ”を目指す。	・交通違反はなく交通ルールの厳正な遵守を励行できた。 ・教職員の職務に取り組む姿勢は年間を通じて厳正かつ熱心なものであった。	A	・継続した呼びかけを行い服務規律が保持を目指す。	A	・次年度以降も継続してほしい。